

Leader  
063

兵庫県

荻野 亨(おぎの・とある)

日の出医療福祉グループ法人本部  
事業本部 本部長  
介護福祉経営士2級

## 地域のなかで生活を支える 介護の価値と姿勢を学ぶ

2013年から、グループで小規模多機能の積極的な展開に取り組んでいます。そのなかで「地域の中で一人ひとりの思いがままの生活」の実現に向け、自身も現場で地域密着事業サービスの評価項目に沿った支援に取り組んだことが、介護に対する考え方が深化する起点になりました。



グループケアでは、どうしても提供者の都合に合わせて、効率や職員主導のサービスになってしまいます。小多機では、個人の歴史や生活習慣、趣味、趣向、信仰等を幅広くアセスメントし、「地域の中で

その人にとつての当たり前前の生活を知り、不足している部分を支援することの奥深さに感銘を受けました。

グループケアでは体験しえなかったこととして、「亡くなったご主人への思いを大切にされている方をお盆や彼岸にお墓参りに連れていくなど信仰への支援が行えたこと」「認知症の方の畑仕事を継続できるように支援したこと」「自宅で最期を迎えたいという末期がんの男性に、「ご家族や訪問診療、訪問看護と協働し、「ご家族が仕事を休むことなく、自然な看取りの支援が行えたこと」があります。そのころから、地域の中で人の生活を支える介護サービスの価値やあるべき姿勢について深く考えるようになりました。

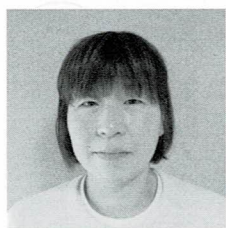
Leader  
064

滋賀県

岩崎 ひろみ(いわさき・ひろみ)

社会福祉法人グロー  
老人ホームながはま  
生活支援員

## 看取りに関わることで 成長につながった



ら、たくさん多くの教えをいただきけるやりがいのある仕事です。

看取りに関わるのが大きな成長につながっています。現場の中にある「気づきの目」や「思いやりの心」、「真剣に考える時間」を積み重ねて学んだことは良い体験です。実際に、

自分の親の時は、「生きている間にしてあげたい」という気持ちが溢れてくることに。家族と話し合い、支援して下さる皆さんに支えられて看取ることができました。介護の仕事は、利用者やご家族に寄り添いなが

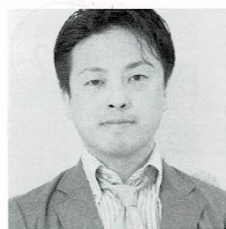
Leader  
065

大阪府

横川 考史(よこがわ・こうし)

株式会社シルバーエッジ  
みのりグループホーム平野  
施設長

## 三大大介護と並び 「楽しみ」も提供したい



にケアをすることで三大大介護と楽しみが並列になり始めました。

特養に勤めていた時、三大大介護と楽しみがある生活の両立に難しさを感じていました。さまざまな取り組みを模索・実行しては定着にいたらなかったのです。そんな中、今の職場に勤務すると戦後生まれの方が多く、ますます個々の楽しむ生活の質に向き合う機会が増え、絵本作家、書道家など専門家を雇用する流れになったのです。従来の介護スタッフと介護フリーター(造語ですが)が共に